

中学校社会科教科書「地理的分野」の執筆を終えて

前・駒澤大学教授 中村和郎

教科書執筆の今昔

学習指導要領は周知のようにおおそ10年ごとに改訂される。新しい指導要領ができてから、それに基づいた新しい教科書ができあがるまでのプロセスは、文部科学省、執筆者、出版社、現場の先生方など各方面の事情に通じている人が書いたならば一大ストーリーになるに違いない。

今回の新しい教科書の執筆について述べる前に、個人的な体験の一端を語ることを許していただきたい。

かつて帝国書院の教科書は、いろいろな理由から数人の大学の先生が執筆するものと決まっていたように思う。私はいくつかの縁があって若いころに帝国書院から中学校の教科書の執筆を依頼されて、何度も辞退したことがあった。中学生を教えたことがない者が教科書を書いてはいけないというのが最大の理由であった。後になって辞退を認めてもらえないならば、せめて中学校の先生と話し合う機会を作ってほしいと申し出て、これは実現した。そのときの先生方とは今でも研究会などで地理教育を熱く語り合うことがある。

新しい教科書の執筆者陣の中に、全国各地の中学校で地理を教えておられるベテランの先生方がくわわっているのは画期的なことで、隔世の感がある。このことによってはじめて中学生の目線で記述することが可能になり、中学生がつまずきやすい点などにも配慮の行き届いた教科書づくりができるようになった。

「知識・理解」中心の教科書から「学び方を学ぶ」教科書へ

現行の学習指導要領（平成10年）によって、従来の「知識・理解」を中心とした教科書から、「基礎的・基本的な内容に厳選し、学び方や調べ方の学習、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習など生徒の主体的な学習を一層重視する」教科書へと大きく変化した。

教科書会社はどこでも大きな戸惑いを感じながら平成14年にこの学習指導要領にしたがった教科書をだした。今回の教科書は平成14年版教科書に対する全国の中学校の先生と生徒たちの意見と、執筆者と出版社の反省などを踏まえての改訂である。

利用する先生と生徒の立場に立ったとき、14年版でネックになったと考えられるのは、なぜ地理を学ばなければならないのかがわかりにくくなったことと、地域調べの学習である。「学校所在地の県を含めて二つまたは三つの県を選んで学習する」ことになった結果、学校所在地の県を学習しなければならないのだが、教科書にはその県のことを書かれているとはかぎらない。教科書に書かれていることを教え、学ぶことが教育だとされていたのが、急に教科書にないことを学習しなければならないようになったようなものである。現実には出版社ごとに各県の副教材を用意していると聞いている。

本書の執筆にあたっては、このような問題の克服を含めて、次のようにさまざまな改善の工夫がこらされた。

1章 身近な地域を調べよう～東京都八王子市の例～	40
1. 外へ出て調べる課題をさがしてみよう	41
2. 野外調査をはじめよう	42
3. 調べる範囲を市全体に広げよう	46
4. さまざまな資料をもっと深く調べよう	52
5. 調査の結果をまとめて発表しよう	54
2章 都道府県を調べよう	56
1. 都道府県の調べ方を身につけよう	56
2. いろいろな地域に分けて県を調べよう	折りこみ2
～鳥取県の土産物産物を手がかりにした鳥取県の例～	(p.60と61の間)
3. 特色となるものを見つけて県を調べよう	折りこみ4
～統計資料を手がかりにした山形県の例～	(p.72と73の間)
4. さまざまな視点で県を調べよう	折りこみ6
～自由な資料集めを手がかりにした福岡県の例～	(p.80と81の間)
3章 世界の国々を調べよう	103
1. 世界の国々の調べ方を身につけよう	103
2. 国内の地域のがいいに注目して国を調べよう	折りこみ8
～統計資料を手がかりにした中国の例～	(p.104と105の間)
3. はかの国との結びつきに注目して国を調べよう	折りこみ10
～自由な資料集めを手がかりにしたアメリカ合衆国の例～	(p.112と113の間)
4. まわりの国との協力関係を注目して国を調べよう	折りこみ12
～新聞報を手がかりにしたドイツの例～	(p.120と121の間)
4章 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
1. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
2. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
3. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
4. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
5. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
6. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
7. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
8. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
9. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
10. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
11. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
12. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
13. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
14. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
15. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
16. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
17. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
18. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
19. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
20. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
21. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
22. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
23. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
24. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
25. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
26. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
27. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
28. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
29. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
30. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
31. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
32. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
33. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
34. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
35. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
36. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
37. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
38. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
39. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
40. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
41. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
42. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
43. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
44. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
45. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
46. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
47. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
48. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
49. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
50. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
51. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
52. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
53. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
54. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
55. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
56. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
57. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
58. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
59. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
60. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
61. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
62. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
63. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
64. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
65. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
66. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
67. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
68. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
69. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
70. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
71. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
72. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
73. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
74. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
75. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
76. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
77. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
78. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
79. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
80. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
81. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
82. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
83. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
84. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
85. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
86. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
87. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
88. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
89. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
90. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
91. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
92. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
93. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
94. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
95. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
96. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
97. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
98. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
99. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
100. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
101. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
102. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
103. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
104. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
105. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
106. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
107. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
108. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
109. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
110. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
111. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
112. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
113. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
114. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
115. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
116. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
117. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
118. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
119. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
120. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
121. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
122. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
123. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
124. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
125. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
126. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
127. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
128. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
129. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
130. 調べ方の学び方を調べよう	111, 119, 127
2部のまとめ 地域の調査を終えて	130

地理の学習目標を明確にした

この教科書の「はじめに」には「この本で何を学ぶか」という副題がついていて、新しい教科書の意図するところが次のように書かれている。

「教科書に書いてある内容をそのまま覚えることよりも、・・・自分で調べたり考えたりすることができるように、その手がかりになる文章や、

地図・グラフ・写真などがたくさんのもっています。・・・これからの日本や世界についても、自分で考えていく力を養ってください。」

本文中の文章と図表はもとより、口絵にまとめて示した世界各地のカラー写真や、2部の折り込み地図なども調べたり考えたりする素材として利用していただきたい。



帝国書院『中学生の地理（初訂版）』口絵1～2

1部と3部の冒頭と、2部の各章の冒頭にはそれぞれのパートで何を学ぶのかを具体的に記述してある。たとえば、2部1章は、「自分たちが住んでいる身近な地域について調べる方法を学びます。図③やp.41～55に調査の手順をステップ1～7として示してあります。さあ、身近な地域の調査をはじめましょう」といった具合である。

3部は、日本の国土の特色を世界全体の中で位置づけ、2部で学習した成果を互いに関連づけたり、異なる地域を比較したり、変化に注目したりしてまとめるように構成した。

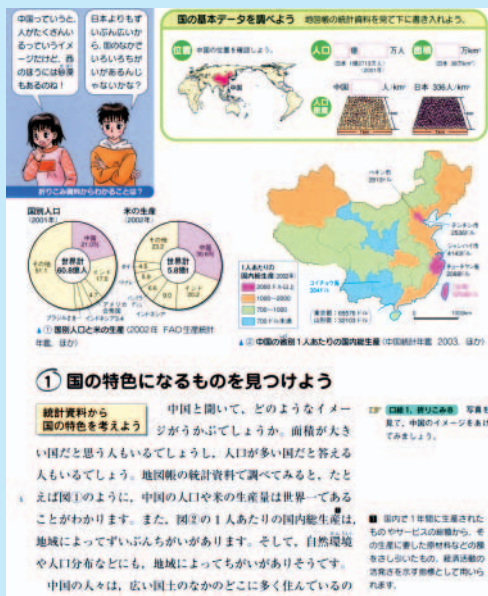
この教科書を使っている最中に、なぜこのような学習をするのかという疑問が生じたなら、いつでもこれらの冒頭部分を読み直していただきたい。

章節の見出しが「統計資料から中国の特色を考えよう」、「人口の多い地域はどこだろう」、「人口



帝国書院『中学生の地理（初訂版）』.p40

が多いとどのような問題があるだろう」、「農業と気候との関連を考えよう」などと投げかけ型になっているのも、そこで何を学ぼうとするかを伝えているし、キャラクターの吹き出しも、地理にはどんな発問の仕方があるのかを示している、学習の意欲や関心を高めようとするねらいが隠されている。

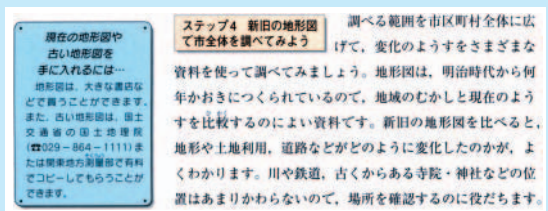


帝国書院『中学生の地理(初訂版)』p.105

地域の調べ方学習

先に述べたように、地域によっては教科書に取り上げられていないことを学習することがある。そのことを考慮して、本書では事例地域を示すだけに止めず、どの地域を調べるときにも手がかりになる調べ方の手順をステップ1～6(または7)のように詳細に書いてある。

ここでも、これらの手順を知識として覚えるのではなく、実際の地域調査にそれを適用することを求めている。教科書の例には大縮尺の地図や、旧版地形図、空中写真などが使われているが、このような地図や写真をどこでどのようにして手に入れるのかがわからないから使わないということ

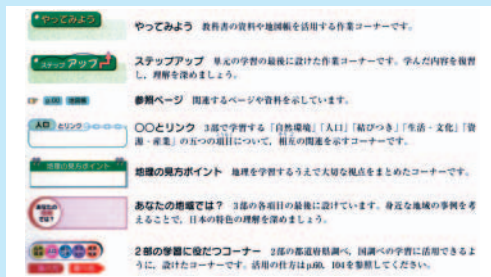


帝国書院『中学生の地理(初訂版)』p.46

があるかもしれない。しかしこの教科書には入手方法まで懇切に書いてある。少し面倒でも手に入れて作業をすることが望まれる。慣れないうちはどこが面白いのかという人がいるだろうが、自分流でいいから何度か作業をしてみると、きっと地理の楽しさがみえてくるようになる。

教科書の中には「空欄に書き込んでみましょう」とか、グラフを完成させる作業が用意されているほか、いたるところに「やってみよう」と「ステップアップ」がちりばめられている。「やってみよう」は教科書の資料や地図帳を活用する作業で、特別に何かを調べなければならぬというものではないので、各自が必ず実行することを前提として作られている。「ステップアップ」は学んだ内容を復習して理解を深めるための作業である。

「地理の見方ポイント」のコーナーも、本文に記載されている地理の見方の要点を示している。



帝国書院『中学生の地理(初訂版)』p. 4

毎日のニュースの中にも地理的な疑問をもつ習慣を身につけよう

政治経済、文化、環境問題、災害・・・などさまざまなニュースにも関心を抱こう。

地震や津波が起こったとき、「プレートがどんな動きをしたのだろう」と発生メカニズムに興味を抱くのは理学的であるが、「今度の震源はなぜここなのだろう」、「アフリカのインド洋岸にまで達した津波の犠牲者は、なぜケニア南部には皆無なのに北部で出たのだろう」という疑問はすぐれて地理的である。

つまり、地理では常に「どこ」、「どんなところ」と「なぜ」という発問をすることが出発点になり、その疑問にさまざまな角度から考えて公正な判断ができるようになることが大切である。

本書がこのような地理の見方を身につけることに役立つならば幸いである。